

多焦点眼内レンズに係る選定療養費について

【本制度の趣旨】

この制度は、患者さんの要望に従い、患者さんの自己の選択に基づいて、“白内障に対する水晶体再建に使用する眼鏡装用率の軽減効果を有する多焦点眼内レンズ”の支給について、患者さんより費用を徴収することができるとしたものです。

【対象レンズ】

- ・眼鏡装用率の軽減効果を有するとして薬事承認されたもの
- ・先進医療において眼鏡装用率の軽減効果を有すると評価されたもの

【費用】

- ・本療養を実施した場合は、医科点数表に規定する眼内レンズ（その他のものに限る。）を使用した水晶体再建術を実施したものとみなして、保険外併用療養費を支給するものとなります。
- ・患者さんから徴収する特別の料金については、多焦点眼内レンズの費用から医科点数表に規定する水晶体再建術において使用する眼内レンズ（その他のものに限る。）の費用を控除した額に、本療養に必要な検査に係る費用を合算したものとしております。

多焦点眼内レンズの種類	自己負担額 税込み (保険適用外・選定療養費)
TECNIS PureSee 焦点深度拡張型 IOL Simplicity 特徴：焦点深度拡張型	200,700円
TECNIS PureSee Toric 焦点深度拡張型 IOL Simplicity 特徴：焦点深度拡張型＋乱視補正レンズ	222,700円
ファインビジョンHP 特徴：遠・中・近の3焦点レンズ	167,700円
Clareon 非球面 PanOptix トリフォーカル 疎水性アクリル眼内レンズ 特徴：遠・中・近の3焦点レンズ	173,200円
Clareon 非球面 PanOptix TORIC トリフォーカル 疎水性アクリル眼内レンズ 特徴：遠・中・近の3焦点レンズ＋乱視補正レンズ	195,200円
テクニス オデッセイ VB Simplicity 特徴：連続焦点型	200,700円
テクニス オデッセイ TVB Simplicity 特徴：連続焦点型＋乱視補正レンズ	222,700円

【その他】

- ・当院は、関係学会から示されている指針に基づき、本療養を適切に実施いたします。
- ・本療養の実施にあたり、患者さんのメリット・デメリット及び費用に関して説明を行い、患者さんの選択に基づき、文書によりその同意を得ます。